

Dr. Shiro Kikuchi is a Professor of the Department of Health, Behavior, and Society, Harvard School of Public Health. He is also a Senior Lecturer at the Harvard Medical School and a Senior Lecturer at the Harvard Divinity School. He is a member of the Harvard University Faculty of Divinity and the Harvard Divinity School. He is also a member of the Harvard University Faculty of Divinity and the Harvard Divinity School. He is a member of the Harvard University Faculty of Divinity and the Harvard Divinity School.

億円は海外事業が寄与する計画である。この

同社は昨年発表した第8次中期経営計画で、24年度で2155億、二ユーコアとの協

円だったセグメント利益を27年度には365鋼板の製造で利益の積ある。

002年9月に川崎製あり、合計7基の高炉ある。ただ高性能電磁鉄とNKKが経営統合が稼働している。しか鋼板や自動車用ハイテして発足した。

〇億円にする。またR みに上げに寄与しそう。同社では中期経営計
 〇E(自己資本利益率) 一方、国内では新たな画のほかに35年度をめ

な事業として どの長期ビジョン

2024年の粗鋼生産量は23

53万トンで国内

2位、世界では

14位の規模であ

る。また鉄鋼業

のほかに持分法適用会

社に造船業のジャパン
マリンユナイテッドが
ある。

同社は東日本では千

し今後、2基の高炉を止し、その後は高炉5基、革新電気炉1基を再構築する。27年度

ンといった高付加価値品の比率は現在の48%から27年度には60%に上昇する見込みであり、これにより製品ト

も現在の3・7%から10%に引き上げる。ここにデーターセンターの3650億円のう

遊休土地が発生した。48倍と割安である。P

（純資産産率）は0・3977円が目標である。

約400名のPBR（株）

地が発生した。価純資産倍率)は0・

タータセンター 48倍と割安である。P

「クル事業など B R 1 倍の水準である

上げ、新たな収 3977円が目標であ

に育てる考えである。

1000000

100

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

1000000

2025年09月30日 013面 01版 No. 01